

「風力発電等技術研究開発／洋上風力発電等技術研究開発
／次世代浮体式洋上風力発電にかかる国内外の技術開発および
認証制度についての動向調査」

公募説明資料

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
新エネルギー部

<目次>

1. 事業概要
2. 応募について
3. 委託先の選定について
4. 留意事項
5. 問い合わせ先

①背景

第6次エネルギー基本計画では、2030年度の温室効果ガス削減に向けて、再生可能エネルギーは電源構成36～38%程度の導入を目指す野心的な見通しが示されています。さらに、洋上風力発電に関しては、洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会が示す「洋上風力産業ビジョン(第1次)」において、2030年までに10GW、2040年までに35GWから40GWの案件を形成するとされています。特に、浮体式洋上風力発電については、従来の要素技術開発に加えて、グリーンイノベーション基金「洋上風力発電の低コスト化」でも社会実装を前提とする技術開発が行われています。

浮体式洋上風力発電の技術は、欧州でも未だ発展途上であり安全性や低コスト化に多くの課題が残っているものの、着床式洋上風力発電と同様に新技術の開発が継続的に進められています。我が国が浮体式洋上風力発電で世界をリードしていくためには、グリーンイノベーション基金事業の先を見越した技術を注視しつつ、技術そのものだけでなく、その導入可能性やコスト低減率を適正に評価することや、我が国での導入に向けての課題を定量的に把握することが重要です。

②目的

本調査は、次世代型の浮体式洋上風力発電に関する動向調査を行い、特に我が国での導入が期待できるものを抽出することを目的とします。

③内容

以下の項目に対して、文献調査や関係者へのヒアリングを行い、その結果から見出される技術課題、及び解決策等を検討します。

(1) 国内外で検討が進められている次世代型浮体式洋上風力発電の技術動向調査

現在、国内外で検討が進められている次世代型の浮体式洋上風力発電の技術開発について、開発技術の特徴、開発主体、技術成熟度、LCOE、商用化に向けたタイムライン等に関する情報を収集するとともに、要素技術を横断的に整理する。その後、我が国の気象条件・海象条件・社会的課題・物理的制約への適合性、経済性及び国内企業の技術活用等の観点から、それぞれの技術開発について定量的な評価を行い、特に我が国での導入が期待できるものを抽出する。

(2) 実海域実証を想定した認証制度の在り方に関する調査

我が国における今後の浮体式洋上風力発電に関する実海域での実証事業をより円滑に進めるための認証制度の在り方を検討する。適切な安全性を確保することが前提ではあるが、商用案件とは運用期間及び設備のスケール等が異なることも考慮した認証制度のあり方を調査する。海外の事例も参考に検討を行う。

(3) 技術委員会の実施

本調査の内容に関して、有識者等の意見を聴くための検討委員会を設置・運営する。委員会は数回程度開催し、調査の効率的な方法等に関する知見を得るとともに、得られた調査結果等について助言を得る。

④事業期間

NEDOが指定する日から2024年3月31日まで

* 月1回程度、NEDOに進捗報告を行うこととし、調査内容のうち(1)については中間成果を取りまとめさせていただきます。具体的な取りまとめ時期については別途指示します。

⑤事業規模

2,000万円以内(税込み)

① 応募要件

次のa.からc.までの全ての条件を満たすことのできる、単独ないし複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査実績を有し、かつ、調査目標の達成及び調査計画の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- c. NEDOが調査を推進する上で必要とする措置を、適切に遂行できる体制を有していること。

②応募方法

本公募要領に従って「提案書」を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までにアップロードを完了させてください。なお、持参、郵送、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません。ただし、NEDOから別途指示があった場合は、この限りではありません。

(1)提出期限

2023年6月5日(月)正午アップロード完了

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。

(2)提出先: Web 入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/fdbbkrifiexs>

(3)提出にあたっての留意事項

- ・提案書は日本語で作成してください。
- ・再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。最後の提出のみを有効とします。
- ・登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。(受付番号の表示は受理完了とは別です。)
- ・入力、アップロード等の操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。
- ・提案書に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- ・受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。

① 審査

以下の審査基準に基づき提案書類を審査します。なお、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられませんので予めご了承ください。

審査基準

- a. 調査の目標がNEDOの意図と合致していること。
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経済性が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況(平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点評価されることとなります。)

3. 委託先の選定について

②スケジュール

項目	2023年度										
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・公募期間	◆5/15 →6/5										
・採択通知 (予定)		▶									
・契約 (予定)			▶								
・委託開始 (予定)			●	■	■	■	■	■	■	■	▶

※ 契約は採択通知以降となりますが、**採択通知日をもって事業を開始**（経費計上）することが可能です。

(1) 契約及び委託業務の事務処理等について

新規に調査委託契約を締結するときは、最新の調査委託契約約款を適用します。また、委託業務の事務処理は、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施していただきます。

(4) NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票及び対応するエビデンス

提案書の実施体制に記載する全ての提案者(再委託等は除く。)において、調査を実施する上で取得又は知り得た保護すべき一切の情報(機微情報)に関して、機微情報の保持に留意して漏えい等防止する責任を負うことから、確認票及び対応するエビデンスを提出していただきます。

(5) 公的研究費の不正な使用及び不正な受給への対応

a. 本事業において公的研究費の不正使用等があると認められた場合

当該研究費について、不正行為の重大性などを考慮しつつ、全部又は一部を返還していただきます。

()内の数字は、公募要領(本文)の「留意事項」の番号を示します。

本公募に関するお問い合わせは、以下の問い合わせ先までE-mailでお願いいたします。

ただし、審査の経過、応募状況等に関するお問い合わせには応じられませんので予めご了承ください。

電子メール: floating-wind@nedo.go.jp

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
新エネルギー部 風力・海洋グループ
担当 木村、三辻、大和田 宛

ご応募、お待ちしております。